

令和5年度
戸田市立戸田東小学校
学校経営方針及び重点・努力点

自律 自走と共創



全ての人を
笑顔 (Well-being) にする
戸田東小学校

令和5年4月3日(月)





令和5年度戸田市立戸田東小学校学校経営方針

◇戸田市教育大綱（R3制定 市長部局）

共に「つくり まもり つなぐ」教育のまち 戸田

◇第4次戸田市教育振興計画（R3～R7）

【基本理念】生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田

【キャッチフレーズ】～とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を～

方針1 子供たちが可能性に挑戦し続ける力を育むための学びの実現

方針2 多様性を尊重し、全ての子供たちが力を発揮できるような誰一人取り残さない学びの保障

方針3 地域・家庭・産官学民などの多様な主体による学びの提供

方針4 個別最適な学びの実現に向けたEBPMの推進

■小中学校共通目標

「グローバル社会で 将来豊かに生き 活躍できる 児童生徒の育成」

1 学校の教育目標 ■自律 自走と共創 ○自分 ○ひと ○未来

○自分がすき 自ら考え、選び、行動する子

○ひとを大切にする 多様な集団の中で他者を尊重し協働する子

○未来をつくる しなやかな発想で自分の可能性を拓ける子

2 めざす学校の姿 ■「かんどう」のある学校

○子供たちが「感動」する学校

○教職員が「歓動」する学校

○地域・保護者の「汗動」に支えられる学校

【めざす学校 具体の姿8】

①一人一人の子供を見つめ 個を受容し 個を大切にする学校

②教育の本質を踏まえ 生きて働く知識・技能の確実な習得を図る学校

③全教育活動に創意工夫を凝らし 主体的・協働的な豊かな教育を実践する学校

④厳しさ・節度・気品 そして 充実とゆとりのある学校

⑤教師自らの資質向上を目指した 意欲的な研究と着実な教育実践を進める学校

⑥義務教育9年間を見通した 施設一体型小中一貫教育を進める学校

⑦健康で 安心・安全な学校

⑧家庭・地域と共に創る コミュニティースクール

3 めざす教師の姿

■「教えの専門家」「学びの専門家」として信念と誇りをもって学び続ける教師

○確かな指導力 子供のよさをのばす

○豊かな人間性 子供の心を耕す

○向上心・同僚性 研究と修養に努め互いに磨き合い高め合う

○協働性 組織の一員としての自覚をもって果敢に課題解決に臨む

○誠実さ 保護者や地域の思いや願いを大切にする

4 学校の経営方針 ■学校が人を育つ場とする

【戸東フィロソフィ】

Mission: 全ての人を笑顔 (Well-being) に—自律—

Vision: 「令和の教室」の実現 —子供を主人公に 教師は学びの伴走者—

Concept: 『自走・共創』

意思 全職員が組織の一実践者としての教育意思と当事者意識をもつ

越境 専門外・想定外・学校外で情報共有・相互承認

創造 フワツとした課題を具体的なタスクに落とし込む 再発見・再発明

【Grand rule:】人が育つ持続可能な学校を目指して

1 全ての判断基準は「子供の立場」

★Supply Side から Demand Side へ

2 スクラップを躊躇しない

★なぜ? なんのために? を大切に Why→How→What

★重要性 > 緊急性

3 学び合う学校文化に

★Just Do it! やってみなはれ

4 失敗から学ぶ組織に

★失敗は成功への第1歩 失敗やミスの情報共有を

★「学校は安全な失敗」ができるところ

5 変化をおもしろがる 変化を創る

★現状把握力 > 決断力

★小さな当たり前の問い直しを積みかさねることが進化へつながる

6 鳥の目・魚の目・虫の目 + コウモリの目 と 猫の目

★当たり前を疑う目と変化に迅速に対応する目をもって

【学校経営のコンセプト:】脱・正解主義 脱・前例主義 脱・予定調和

1 プロジェクト型経営 —自走・共創する組織—

全員参加のミッション型組織による学校運営 <組織改革>

2 実社会とつながる学び —産官学との連携—

21世紀型スキル 汎用的スキル 非認知スキルの育成

<PBLの深化とSTEAMへの進化>

3 学びを科学する —3Kからの脱却—

科学的根拠による 授業改善 <EIPP>

(Evidence Informed Policy and Practice)

EIPPとは客観的な証拠を共有しながら政策を実行し改善するサイクル

EBPM (Evidence Based Policy Making、エビデンスに基づく政策立案)よりも、政策のゴールを共有した研究者やデータアナリスト、政策立案者、実行機関が相互に連携し合い政策改善サイクルを回す点が優れている



令和5年度戸田市立戸田東小学校学校経営の重点・努力点
 全ての人を笑顔 (Well-being) にする戸田東小学校
 —学校が人を育つ場—

★5つの重点

プロジェクト型・ミドルリーダーのアップ・ダウンマネジメントで

1 GIGA第2フェーズにおける
 「令和の学び」の実現

- (1) 探究の学び —教育課程特例校—
- (2) 個別最適な学び
- (3) 協働的な学び

2 自律型生徒指導の推進と相談体制の充実

3 心身の健康増進を図る教育活動

4 DXの加速度的推進

5 働き方改革の推進

1 GIGA 第2フェーズにおける「令和の学び」の実現

「令和の学び」プロジェクトA ※学校課題研究

- ・PBLの深化とSTEAMへの進化
- ・多様な学び方のある教室 (非同期型授業への挑戦)

2 自律型生徒指導の推進と相談体制の充実

「わくわくする学校づくり」プロジェクトB

- ・自己有用感・自律指導
- ・自己肯定感を高める学びと生活づくり
- ・なないろルーム(パレットルーム)の充実
- ・特別支援教育の視点に立った教育活動
- ・自ら企画・実践・振り返る子供のロング昼休み(PBLの要素を加味)

3 心身の健康増進を図る教育活動

「健康教育」プロジェクトC

- ・生涯スポーツの素地づくり
- ・自ら企画・実践・振り返る子供の活動づくり(PBLの要素を加味)
- ・自助・共助・公助でいのち・人権を守る

4 DXの加速度的推進

「戸東DX」プロジェクトD

- ・未来を共創するICT活用
- ・学びGIGA・児童支援GIGA・校務GIGA
- ・保護者・地域と連携したDC教育の推進

5 働き方改革の推進

「Well-beingな職場づくり」プロジェクトE

- ・前例踏襲をSCRAP、新しい価値をBUILD
- ・心理的安全が図られヘルプとサポートが出せる職場
- ・50cm改善を自らが進める職場
- ・時間的・精神的ゆとりがある倫理ある職場風土づくり
- ・セルフマネジメント

経営の努力点 10

- 1 子供の可能性に蓋をしない「令和の日本型学校教育 in 戸東」の実現
- 2 GIGA スクール構想第2フェーズにおける「戸東 DX」
- 3 「自分がすき」「ひとを大切に作る」という子を育てる教育の推進
- 4 多様性と包摂性の尊重 (ダイバシティ&インクルージョン)
- 5 自己の健康への関心を高め 課題意識をもって取り組む健康教育の推進
- 6 自他の生命尊重 自ら安全な生活を営むことのできる安全教育と安全管理の徹底
- 7 家庭・地域社会との共育体制強化:コミュニティスクールの充実
- 8 変化にしなやかに対応する学校組織の向上
- 9 キャリアステージに応じた教員研修の実践と OJT で成長する資質・能力
- 10 憧れられる学校職員・教師となるために

- 1 子供の可能性に蓋をしない「令和の日本型学校教育 in 戸東」の実現
— 子供は主人公 教師は学びの伴走者 —
 - ①資質・能力ベースの探究学習の推進<新しい学びの姿>
 - ②教科横断的な学び <カリキュラム・マネジメント>
 - ③PBL の進化・STEAM への深化 <学習の個性化>
 - ④主体的・対話的で深い学びの充実<問いとファシリテーション>
 - ⑤学習評価 (リフレクション・ルーブリック) の研究
 - ⑥外部連携による実社会につながる学び <社会に開かれた教育課程>
- 2 GIGA スクール構想第2フェーズにおける「戸東 DX」
— 学び GIGA・児童支援 GIGA・校務 GIGA—
 - ①一人一台端末の文具的活用による個別最適な学びと協働的な学び<学びと愛用>
 - ②電子黒板ホワイトボードプロジェクターの効果的活用
 - ③誰一人取り残されない個別最適な学び (非同期型授業への挑戦)
 - ④教育クラウドの効果的な活用及び家庭とシームレスにつながった学び
 - ⑤オンライン学習・サテライト学習・ハイブリッド学習
 - ⑥指導・校務のデジタル効率化の推進
- 3 「自分がすき」「ひとを大切に作る」という子を育てる教育の推進
— 自己肯定感と自己有用感の醸成—
 - ①いじめ防止と根絶 解消率100%
<見逃さない 見捨てない 見て見ぬふりしない>
 - ②自己指導能力を育てる学級・学年経営の充実
<自己存在感・共感的な人間関係・自己決定>
 - ③行動の背景を探り、よさに着目する生徒指導
<PBS の推進-Positive Behavior Support->
 - ④自治的能力を育成する教育活動の工夫
<全ての人を笑顔にする子供主体の PBL 的活動>
- 4 多様性と包摂性の尊重 (ダイバシティ&インクルージョン)
— 誰一人取り残されない公正な教育の実現—
 - ①教室環境と学びのユニバーサルデザイン化<学習者用デジタル教科書>
 - ②個々のニーズに応じた個別最適な学びの実現 <AIドリル>
 - ③多様性を理解・尊重し、対立やジレンマを克服
 - ④相談・支援体制の強化 <教育相談・なないろルーム>
 - ⑤特別支援教育の推進と「交流及び共同学習」の充実

- 5 自己の健康への関心を高め課題意識をもって取り組む健康教育の推進
 —自分の心、体、命を大切にす教育の推進—
- ①運動の楽しさや喜びを味わわせる体育授業や体力向上事業
 - ②養護教諭の専門性を活かした実感の伴った保健授業
 - ③栄養技師の専門性を活かし生涯健康に繋げる食育授業
 - ④外部連携を生かした命を守る授業
 - ⑤確実なアレルギー対応
- 6 自他の生命尊重
 —自ら安全な生活を営むことのできる安全教育と安全管理の徹底—
- ①戸東小のきまりによる危険予測・法令順守教育(きまり廊下歩行等)
 - ②地域の学校支援組織と連携した子供の安全を守る活動の推進
 - ③関係機関と連携した安全教室の実施と指導の徹底
 - ④防災教育の工夫・改善
- 7 家庭・地域社会との共育体制の強化
 —コミュニティースクールの充実—
- ①HP,FB,H&S等による積極的情報発信と情報共有
 - ②地域を学びの場とした学びの充実(地域の人、場所、ものとの交流)
 - ③二項往還する地域の教育力と学校力
 - ④学校評価を活かした学校経営改善
- 8 変化にしなやかに対応する学校組織力の向上
 —ミドルによるアップ・ダウンマネジメント—
- ①プロジェクトへの権限移譲と目的の共有・目標への協働
 - ②共通行動と報告・連絡・相談・確認の徹底
 - ③強みと弱みの補完するチームワーク
 - ④見える化とシステム化<WHATからHOWへ>
- 9 キャリアステージに応じた教員研修の実践とOJTで成長する資質・能力
 —ヘルプとサポートが出せる職場づくりと学びの充実—
- ①自己申告シートにおける達成目標の焦点化と日常実践の振り返り
 - ②令和の学びへの挑戦
 - ③学び合い 高め合う 研究の推進
 - ④プロジェクトベースで進める校務分掌運営
 - ⑤課題の可視化と解決策のシステム化による経営政策能力の発揮
- 10 憧れられる教師となるために
 —働き方DXの推進とコンプライアンスの徹底—
- ①セルフコントロール 時間外勤務45時間以内(毎月)
 - ②早期立案と見通しの明確化 重要性≧緊急性
 - ③校務の合理化・効率化 Gsuiteの更なる活用
 - ④信用失墜行為の根絶・早期発見・迅速・的確な初期対応
- | | | |
|---|----------|------------|
| さ | 最悪を想定して | サービス精神に徹する |
| し | 慎重に対応 | 迅速な対応 |
| す | 素早く対応 | 水面下にも気を配る |
| せ | 誠意をもって対応 | 誠意をもって対応 |
| そ | 組織的な対応 | 相談しやすい態度で |

■サービスの基本 ～保護者・地域からの信頼を得る～

- (1) 法令・法規に基づき、教育公務員としての自覚を高め、公私の区別を厳しく行い
サービス専念の義務を果たす
- (2) 出勤簿の捺印、退勤時の施設・文書の保全管理等の徹底
- (3) 年休届けの提出、出張の報告・復命、各種願、報告等の迅速な対応
- (4) 信用失墜行為、教職員事故を絶対に起こさない決意
- (5) 体罰、不適切な指導の根絶（思い上がった指導はないか）
- (6) 情報漏洩に注意（情報セキュリティポリシーの遵守）
- (7) 交通事故防止（乗車中は心の安心、飛び出すことが前提、法令遵守、焦らず連絡）
- (8) あらゆるハラスメントの根絶（人の前に立ち、「先生」と呼ばれる責任）

さ	い	た	ま	の	ひ	の	こ	わ	(は)	の根絶
酒	異性	体罰	マネ		非 違 行 為		個 人 情 報 の 漏 洩	わ い せ つ 事 故	ハ ラ ス メ ン ト	

■勤務時間及び休憩時間等

(1) 勤務時間（勤務開始時刻及び終業時刻） 8:30 ～ 17:00

(2) 休憩時間（6時間以上勤務する場合の）

A月曜日課の日（月曜日）

14:45～15:30（45分間）

【会議・研修等 15:30～17:00（90分間）】

B最終学年が6時間授業の日（火から金曜日）

15:35～16:20（45分間）

【会議・学年会・職員集会・教材研究等16:20～17:00（40分間）】

C休業日または児童が給食なしで下校する日

12:15～13:00（45分間）

ことばの教室

12:20～13:05（45分間）

(3) 定時退勤日 原則毎週金曜日及びふれあいデー（原則21日・給与支給日）

※やむを得ない事情（面談等）が見込まれる時は前日までに管理職に、時間と内容を申告する。

(4) 出勤時・退勤時に挨拶と共に打刻し、自己の在校時間を把握し、よりよい働き方を考える。

上限月45時間、年間360時間をもとに、1日2時間を意識する。

(5) お互いを「先生」と呼称するのはやめよう。

【学校だより校長巻頭言 4月】

御入学・御進級おめでとうございます

～「自分がすき・ひとを大切に作る・未来をつくる」子供たちに～

校長 高橋 博美

保護者の皆様、お子様の御入学、御進級おめでとうございます。

4月11日に147名の新生を迎え、全校児童1,091名、32学級と「なのはな学級」3学級の合計35学級で、戸田東小学校の新年度がスタートします。新しい先生、友達との出会いを大切に、「自分がすき、ひとを大切に作る、未来をつくる」学校生活を送ってくれることを期待しています。

希望に胸をふくらませ、新たな出会いを喜ぶ季節です。新型コロナウイルスにより、普通でない日常が続いておりましたが、今年度から原則マスクを外しての生活となります。これは外すことを強制するものではありません。感染法上の2類から5類への移行もあります。安全・安心な環境を作りながら、少しずつ制限をはずしていけそうです。3密は避け(集まらない・くっつかない・大声をださない)ながら、子供たち同士の関わり、活動を増やしていけたらと考えています。

本校は、この2月に岸田文雄総理大臣・永岡桂子文科大臣の視察を受けました。総理から「GIGA スクール構想の下に、子供たち1人1人に整備された端末や最先端のデジタル設備を活用した授業の様子を見させていただきました。本日視察させていただきました戸田東小学校を、特定の自治体の先端事例ということで終わらせるのではなくして、これを是非全国に展開させていただき、こうしたことが必要であるということを感じました。」と、本校で進めてきた学びの改革が、あるべき姿として、全国に広めていくものとして評価されました。引き続き、「PBL(子供が身近な地域・社会の課題を発見し、試行錯誤しながら成果物を通して子供なりに解決していく学び)」「一人一台タブレット端末活用の授業」など「新しい学び」を実践していきます。

今年度も本校の教育目標の具現化に向け、教育活動を展開します。御理解と御協力のほどよろしくお願いいたします。

【学校の教育目標】

グローバル社会で将来豊かに生き活躍できる児童生徒の育成

【めざす学校像】

全ての人を笑顔(Well-being)にする戸田東小学校

【めざす児童像】

- 自分がすき 自ら考え、選び、行動する子
- ひとを大切にする 多様な集団の中で他者を尊重し、協働する子
- 未来をつくる しなやかな発想で自分の可能性を拓ける子

終わりに、今年も人事異動により11名の職員が転退職し、新たに11名の職員が着任し、総勢71名の職員で教育活動に当たってまいります。教職員一同、「子供たちに笑顔を!」「子供を主語にした学校!」と張り切っております。本年度も御協力を賜りますようお願いいたします。